

長尾福祉会報

平成25年4月1日

第27号



のぞみ園 ひな祭り茶会 (3月3日)



—長尾福祉会理念—

障害をもっているも なくても 男も女も

「生まれておめでとう・成長しておめでとう・長生きしておめでとう」といえる

社会づくりをめざします。

もくじ

高齢者福祉の動向と長尾福祉会の取り組み	2
よき支援者を目指して	2

●ハーティヴィラ亀鶴

サービス付き高齢者向け住宅	3
ショートステイセンター	3
ケアプランセンターゆたか	3
デイサービスセンター	3

●ゆたか荘

祝開荘十三周年によせて	4
人生ゆたか 老後ゆたかに	4
豆まきで邪気払い!!	5
穏やかであたたかい時間を	5

●デイサービスセンターゆたか

八度目の桜の季節を迎えて	5
豊富なレクリエーション作り	5

●のぞみ園

のぞみ児童デイサービス事業所 新装オープン	6
長尾小学校交流	6
卓球大会	6
新しいお友達	6
保護者の一言	7
テーブルマナー外出	7
クリスマス会	7
総合防災訓練	7
職場研修	7

新任職員紹介	8
ご支援ありがとうございました	8
「福祉サービス第三者評価」受審を受け	8
編集後記	8

高齢者福祉の動向と 長尾福祉会の取り組み

社会福祉法人長尾福祉会

常務理事 森田 浩之

現在の香川県の高齢化率は約23%さめき市においては高齢化率は約26%を超え、言うまでもなく超高齢社会となっております。近年政府は「施設介護から在宅介護へ」の方針を打ち立てており、平成12年からスタートした介護保険制度も制度改正の都度、在宅介護偏重型へとシフトしている感は否めないところです。しかし、理想とする家族介護ができる世帯が、今の時代にはたしてどのくらいあるのでしょうか。家族介護をするためには常勤での就労をあきらめる方も多いでしょう。在宅での介護には高コストの在宅サービスも不可欠でしょう。それは現政府が提唱する就労人口増加や給与水準のアップなどの足枷になることも今後の高齢福祉制度の設計をしていくうえでよく考えてほしいものです。

我が社会福祉法人長尾福祉会も旧長尾町の高齢福祉施策および障害者支援施設のみ園利用者の高齢化対策として、平成12年3月に特別養護老人ホームゆたか荘を開設し、先日13周年を迎えました。ゆたか荘では「豊かな生活」をモットーに掲げるとともに家庭的な温かい介護と、施設という特性を生かした専門的かつ質の高いサービス提供を基本方針として、在宅で可能な限り生活できるよつ身体機能や生活機能の低下を防止するための取り組みを行っています。

また、昨年11月にはサービス付き高齢者向け住宅を併設した複合施設「ハーティヴィラ亀鶴」をオープンし、新しい形態の在宅福祉モデルも積極的に取り組んでいます。

当法人では依然ニーズが高い施設サービスと在宅サービスの効果的な利用の助言、そして家族をはじめ地域での見守りや介護力向上を、法人内高齢関係事業所すべてが密な連携を図りながら実現していくことを考えています。

今後とも長尾福祉会の高齢者関係事業所への様々なご意見として、ご指導のほどよろしくお願い致します。

平成25年度の 目標と課題

法人目標

- ・利用者の尊厳と自己決定を尊重します
- ・地域福祉の啓発活動と地域貢献を行います
- ・多様化する福祉ニーズに対する調査研究と実践をします
- ・法人各種別間の積極的な連携を行いシームレスな福祉を目指します
- ・永続的に安心を提供するための法人経営の強化に取り組みます
- ・災害時に利用者、地域が安心できる施設・体制を整えます

よき支援者を目指して

障害者支援施設 のぞみ園
園長 松木 正美

本年、障害者自立支援法から、障害者総合支援法に改正されました。可能な限り地域での生活や社会参加機会を確保する理念が新設され、法の目的が「自立した」から、「基本的な人権を享有する個人としての尊厳」に置き換えられました。そして障害者自立支援法の中身を引き継いだ「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する」ための法律となりました。

この法律を受け、のぞみ園においても利用者一人ひとりを、人間として尊厳が守られ、豊かな人生を自己実現できるよう支援する責務と使命が改めて問われています。昨年度、のぞみ園は香川県社会福祉協議会の福祉サービスマネジメント事業を実施し、専門的かつ客観的立場から、のぞみ園が行う福祉サービスの質を評価していただきました。評価を受けこれからののぞみ園の運営や職員の育成に生かしていきたいと思っています。

また、児童デイサービス事業が障害児通所支援事業となり、児童福祉法に移行されました。のぞみ児童デイサービス事業所は、定員25名の児童発達支援と放課後等デイサービスの多機能型の通所支援事業所となります。そして本年4月、長尾西の地に新たに新築、移転致しました。鉄骨平屋建て303㎡で床暖房のデイサービスルーム3室等を整備していますので、是非で見学、ご利用下さい。

障害の有無に関わらず、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現するために、のぞみ園としてこれから何をすべきか原点に返って考えていきたいと思えます。

今年も職員一同、よき支援者をめざして頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。

平成25年度の目標と課題

のぞみ園

目標

- ・利用者の意思及び人格の尊重
- ・利用者の立場に立った障害福祉サービスの提供
- ・就労支援への取り組みの推進
- ・障害児支援の強化

課題

- ・各事業の円滑な実施と経営の安定
- ・的確な個別支援計画の作成と実施
- ・グループホーム・ケアホーム開所の計画
- ・障害児通所支援事業の充実
- ・相談支援事業の充実
- ・リスクマネジメントの徹底



高齢者複合施設
ハートヴィラ
亀鶴

H...health 衛生的、健康的な生活
E...enjoy 楽しく、愉快的な時間
A...activity 活気に満ちた空気
R...relax くつろぎと癒しの空間
T...trust 信頼されるサービス
Y...youth いつまでも若々しく

サービス付き高齢者向け住宅

常駐スタッフ 谷口 陽子

サービス付き高齢者向け住宅とは、介護・医療と連携して高齢者を支援するサービスを提供する賃貸住宅です。収納・洗面・トイレなど完備し、プライバシーも保てる構造になっており、必要な時に必要なだけサービスを受けながらご自宅同様に自分のペースで生活ができます。

ハートヴィラ亀鶴のお部屋は10室あり、現在満室ですが見学と申し込みは随時受け付けております。利用料金等詳細は「ハートヴィラ亀鶴」までお問い合わせください。

ショートステイセンター

センター長 大黒 康子

11月のオープンからはや5ヶ月がたち、利用者様・スタッフともに穏やかな日々を過ごしています。ショートステイセンターでは、「介護が必要になっても、その人らしい毎日を」「施設に入っても、自宅にいたときと同じような暮らしを」という思いを実現するためユニットケアを実施しております。亀と鶴の2ユニットにそれぞれ10床の個室があり利用者様それぞれの生活が営まれております。食器洗いを手伝ってくださる方、歌を聴いて楽しむ方、会話に花が咲く方、リハビリのため散歩される方、そして食事時になるとリビングにはご飯の炊ける香りが広がり食欲を刺激し「食事がおいしく」と利用者様に好評です。

小規模で家庭的・個別ケアの実現というよい面を活かしたユニットケアを実施していくことで、ケアの向上とスタッフの能力向上にもつなげていき、ショートステイセンター亀鶴の理念である「ハートヴィラ心で楽しみになる毎日と共に過ごしていきたい。」という思いを持ってこれからも日々の生活をケアしていきます。



ケアプランセンターゆたか

センター長 鎌倉 節子

昨年11月1日にハートヴィラ亀鶴に事務所を移転した際、ケアプランセンターゆたかに名称変更を行いご利用者様が家族様には大変ご迷惑をおかけしました。5か月が経過し職員も今更以上にご利用者様が在宅での生活が継続出来よりよい支援が出来るように努力をしていきたいと思っております。今後ともよろしく願います。



デイサービスセンター

センター長 谷風 恭子

法人の理念である、「長生きしておめでとつといえる社会づくり」ハートヴィラの基本方針である「誰もが住み慣れた環境でいつまでも過ごせる喜び」そんな想いをサービスで提供できるようにと思いつながらオープンして5か月が経ちました。

ここに来れば皆に会える・楽しみがある・喜びを感じるそんな環境づくりを行い、デイに出かけご利用者様同士や職員と出会う事で、程よい緊張・刺激を受け、いつまでも笑顔で過ごして頂けるように配慮しております。

ご利用者様の尊厳とプライバシーをまもり、お一人おひとりと心をかよわせた介護を行い、また、職員の介護技術の向上に常に取り組み、ご利用者様、ご家族様にとって安心安全な介護を行っていくよう勉強してまいります。今後も、皆様のご支援・ご理解のもと、職員一同、初心を忘れずにご提供してまいりますので、思いますのでよろしくお願ひ申し上げます。



ゆたか荘

祝開荘十三周年によせて

ゆたか荘
施設長 朝倉 裕子

開荘記念日には豪華な祝膳とともに、さめき民俗芸能保存会の皆様による華麗で艶やかな踊りを堪能させていただきました。お祝いムード一色で心も躍る祝賀会になりました。

「人生ゆたかに、老後ゆたかに、長寿を支えるゆたか荘」として、地域の皆様方より心温まるご支援・協力を賜り、お陰さまで開荘十三周年を迎えることができましたこと、心より感謝申し上げます。ゆたか荘をご利用されているお年寄り様が、健康で心豊かに生活していただけるよう、新たな年度目標と課題を掲げ、達成に向けて職員一同全力で努力して参ります。また、地域から信頼される社会福祉法人として、地域を支え、地域の皆様の幸せな暮らしづくりにも社会福祉協議会と連携し、協力していきたいと思っております。職員ひとり一人が福祉の専門家として高い意識を持ち、地域で役立つ人材として福祉の啓発活動を行ったり、定期的なクリーン活動、あいさつ運動等、様々な活動を通して安心して暮らせる地域づくりを目指します。これからもよろしくお願ひ申し上げます。



平成25年度の目標と課題

ゆたか荘

目 標

- ・ 専門性の高いチームケアの提供
- ・ 利用者の尊厳と自己決定を尊重したケア
- ・ 地域で安心して暮らせる社会づくり

課 題

- ・ 4つの自立支援（認知症ケア・口腔ケア・看取りケア・リハビリ）
- ・ 個別ケアの推進と職員研修の充実
- ・ 福祉の啓発活動・地域貢献活動



菊花展鑑賞会



長尾地区文化祭



長尾保育園



運動会



クリスマス会



人生ゆたか
老後ゆたかに

日々の楽しみや
生きがい実現のため

餅つき交流会



新年祝賀



初詣



外出

長尾聖母幼稚園



開荘記念行事



ひな祭り茶会



豆まきで邪気払い!!



2階介護職員 渡辺 貴公

一月四日の立春の日に、ゆたか荘オーブンスペー
スにて節分恒例行事の「豆まき大会」が行われました。
この日の昼食には、具だくさんの恵方巻き、鯛のつ
みれ汁、煮豆が並び、「節分らしいなあ」「御馳走や〜」
と利用者様も節分気分いっぱいになり、本番の豆まきに向
けて鋭気を養っておられました。

午後からの「豆まき大会」には、利用者様が製作され
た福の面をかぶり、豆を抱え、開会の挨拶を待たずし
て既に戦闘態勢…。今や遅しと鬼を待ち受けているこ
様子。その時！激しくドアを叩く音が聞こえたかと思
うと、突如赤鬼・青鬼が乱入し一斉に豆まきが始まり
ました。

「福は内々、鬼は外々」と大声で叫びながら、力いっ
ぱいに鬼めがけて豆を投げる利用者様、鬼の形相の怖
さに悲鳴をあげる利用者様、「鬼さんが可哀想」と豆を
鬼に渡している利用者様と、豆まきの楽しみ方は人
様々でした。手持ちの豆が無くなる頃には、鬼は観念
して一目散に退散していきました。鬼退治に成功した
ことで、利用者様と一斉に万歳三唱。その後、七福神の
一人である恵比寿さんが和やかに登場し、皆さんで今
年一年の健康とご多幸をお祈りしながら、恵比寿さん
の振る舞う甘酒を頂いて締めくくりました。

利用者様には季節感も味わって頂きながら、また風
邪が流行るこの時期に邪気払いも同時に出来た豆ま
き大会。今年も無病息災、笑顔で楽しく生活出来るゆ
たか荘であるよう努めていきたいと思っております。



職員紹介

穏やかであたたかい時間を

2階介護職員 島本 用子

いつも私のネームを確認しながら「島本さん、あなたを見ると、若い頃働いていたときの課長さんを見いだすわ。島本課長。」と満面の笑みで話しかけてくれる利用者様がいます。

私からなつかしい世界が広がるなんて、なんて素敵なことでしょう。顔もよく似ているのだと、嬉しそうに話して下さいます。この話は、私だけにしてくれる話なんだな、と思うことも、あたたかく嬉しい気持ちになります。そして、私を見ていてくれるんだな、と思うとまた嬉しくなります。

私もひとりひとりの利用者様に、自分を見てくれて、という安心感と喜びを届けられるような人でいたいな、と思います。

これからも、寄り添える時間を大切に、皆様に穏やかであたたかい時間を過ごしていただけるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いたします。



デイサービスセンター ゆたか

八度目の桜の季節を迎えて

所長 矢野 勝久

平成一八年二月に産声をあげては八年目となりました。日頃から地域の皆様にご利用いただき、毎日、笑顔と活力が溢れ、活気あるデイサービスとなっております。パイ従事者として改めてご利用される先輩方の元気に感謝すると同時に私達のお手本として見習うべきことは多いと実感致します。元気の秘訣は「早寝早起き」、「食生活を気遣う」、「散歩」等々お話しをするなかで本人さんたちは習慣として健康への取り組みを自然にされていることがわかります。デイサービスとしても日々のリハビリ、他者交流などに加え、昨年末よりあん摩マッサージ指圧師の資格を持った職員によるマッサージを利用する時間にもサービスとして取り入れ、皆様の身体ケアをお手伝いできるようなことを考えております。

「デイサービスセンターゆたか」としては、ご利用される方々が健康な生活が送れるよう、利用を通してご支援できればと思っております。今後ともよろしくお願いたします。



豊富なレクリエーション作り

介護職員 松下 勇人

「見て楽しむ」「身体を動かして楽しむ」「作って楽しむ」楽しみ方は人それぞれ異なりますが、レクリエーション・行事等を通じて利用者様同士での交流はもちろん、地域の方のご協力も頂きながら生きがい作りのお手伝いができればと考えております。

デイサービスでは毎月、さぬき市造田の鎗内様ご夫妻にお越し頂き、昔懐かしい曲を鎗内様の音頭で皆さんで合唱し、この方も自然と口ずさむ様子がみられております。これからも利用される皆様笑顔で楽しめるようなレクリエーションを考えていきたいと思っております。





のぞみ児童デイサービス事業所 新装オープン

昨年度国、県、市の補助金を得て、新築工事を行っていたのぞみ児童デイサービス事業所が完成し、新装オープンしました。

場所は長尾西1162-1で香川県東部卸売市場の南、成就池の南、市道辛立下屋支線の東側です。約3300㎡の敷地の北側に延床面積303㎡の鉄骨平屋建ての建物です。旧のぞみ児童デイサービス事業所は定員10名で狭隘な施設でしたが、新築の施設では、幼児の児童発達支援5名、小学生から高校生までが利用する放課後等デイサービス20名、計25名の多機能型通所支援事業として運営します。床暖房付きのデイサービスルーム3室や調理実習室、療育相談室2室、12畳の和室等が整備されています。香川県東部養護学校、各学校の特別支援学級に通学している児童・生徒が、放課後および振替休業日・長期休業中の終日、利用できます。また、幼児の発達支援については、午前中から利用できます。広い駐車場や運動場もあり、快適な生活を確保できると思います。是非見学していただき、ご利用をお願いいたします。(連絡先 087-91233-6684)



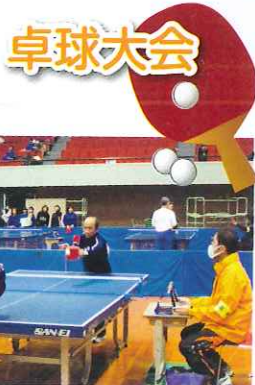
長尾小学校交流

長尾小学校五年生が人権学習の一環として障害について理解を深めようとのぞみ園を訪問しました。十月十六日と二十一日は園長から障害について説明し、施設見学をしました。十二月十三日・十四日はのぞみ園利用者と交流するため、作業・製作・音楽・運動の四グループに分かれて活動を行いました。

～長尾小学校児童より～

園生の方との運動・歩行をしました。手をつないで歩きました。会話は少ししかできなかったけど、だんだんと手の温かみが出てきて、何だか心も温かくなってきました。園長先生がおっしゃっていた「友だちになつてください。」の意味が少し分かった気がします。次は、ぼくたちが園生の人たちを楽しませる企画をしたいです。

サービス管理責任者 山田 邦浩



卓球大会



十二月二十二日、高松市総合体育館にて行われた、ゆうあいピックかがわ卓球大会に参加しました。のぞみ園からは、7名がそれぞれの力量に合わせた部に出場しました。入賞する事はできませんでしたが、各利用者全力を尽くした様子が見受けられ、自分の試合が終わった後も大きな声で応援したり、勝敗関係なく、観客席へ戻ってきた選手を拍手や握手で迎える姿も見られました。

～新しいお友達～

有馬 健二さん

12月1日より、のぞみ園に入所しました。
よろしくお祈りします。



保護者の一言

井口 裕二

二月六日息子は三十八歳になり、園にお世話になって十五年が過ぎました。

週一回、一泊二日での帰省が今では私達も高齢となり、土曜日の日帰りとなってしまいました。帰るとまずおやつ、そして次々とこだわりが始まります。こだわりを回避させるため、三人で公測公園一周に出かけることが今では我が家のルールになっていきます。

昼ご飯を食べ、紙破りをし、お風呂にゆっくり入り、着替えを済ませると自分の中で流れができていますので、急いで「のぞみ園」へ帰ります。

怪我をせず、他の園生と喧嘩をせず、穏やかに暮らしてくれたらと思います。

これからは我家をはじめ保護者も高齢化するなか、職員の皆様にはなにかと苦労をおかけしますが、今までのように明るく楽しい日々が送れることを願っています。

テーブルマナー外出

通所利用者 西山 杏里

普通寺のホテルでごはんを食べました。おまわりもしました。みんなでもた行きたいです。



女子寮



通所



男子寮



南寮

クリスマス会

生活支援員

山田 和広

のぞみ園の、冬のお楽しみ行事の一つであるクリスマス会が、十二月二十日に行われました。おいしいクリスマスランチの後、ホールに集まり、ボランティアの方によるバルーンアート、ギター演奏、職員ダンス、利用者有志のエイサーが披露され、最後にサンタクロースからプレゼントが渡されました。おやつには、シャンメリーを飲み、ケーキを食べました。利用者のみなさんも、大いに盛り上がった楽しいひと時でした。



総合防災訓練

通所生活介護寮長 青木 智弘



毎年消防署の方々に来園いただき実施している総合防災訓練を、十一月八日に行いました。夜間の火災を想定した避難訓練や、心肺蘇生法について実技指導をしていただきました。利用者の方にも防災に対する意識を学んでいただける良い機会となつていたので、今後も継続していきたいと思つています。

職場研修

サービス管理責任者 岡 慎也

のぞみ園では職場内研修の取り組みの一つとして外部講師による講演を行っています。二十四年度は「発達について」、「成年後見制度について」のテーマで講演していただきました。内部研修としては「虐待防止」や「感染予防」を実施しました。それぞれのテーマについて深く学びたい機会になつており、今後も継続して実施していきたい利用者サービスの向上につなげていきたいと思つています。





新任職員紹介



ハルティヴィラ
亀鶴 寒川 理奈



ゆたか荘
山下 達也



ゆたか荘
塚田ひとみ



のぞみ児童
デイサービス
岩田 俊輔



のぞみ園
棚田 真依



のぞみ園
塚田 裕幸

発行 ● 社会福祉法人 長尾福祉会

発行者 ● 村尾 良明

豊考舞稚園 長尾聖母幼稚園 長尾小学校三年生 長尾小学校五年生 岡本由美子 岡本由美子 横井由美子 横井由美子 前山保小 前山保小 長尾山保小 長尾山保小 池田宏育 池田宏育 眞鍋勉子 眞鍋勉子 野崎泰子 野崎泰子 向井博子 向井博子 行成輝 行成輝 多田実 多田実 多田実 多田実 かねとう歯科 かねとう歯科 佐藤歯科 佐藤歯科 中村喜美 中村喜美 いのうえ灯籠店 いのうえ灯籠店 香川トヨタ自動車 香川トヨタ自動車 松井信之 松井信之 森川康生 森川康生 井上ヒロキ 井上ヒロキ 小西圭一 小西圭一 眞鍋映子 眞鍋映子 長尾映子 長尾映子 二股土地改良区 二股土地改良区 氏家昌代 氏家昌代 黒田美子 黒田美子 小元山代 小元山代 小元山代 小元山代

ご支援ありがとうございました

ホームページURL <http://care-net.biz/37/nagaofukushikai/>
 のぞみ園 ● さめき市昭和10032 / TEL 0879-5211727 / FAX 0879-5211728
 ゆたか荘 ● さめき市昭和56214 / TEL 0879-2316511 / FAX 0879-2316565



●公益財団法人 日本財団様より、児童デイサービス送迎車と、就労B型出張販売車の二台を助成して頂きました。



ありがとうございました。



●香川県共同募金会様から「NHK歳末たすけあい義援金」配分よりパーソナルカラオケ、デジタルカメラ、スチーム加湿器を購入させて頂きました。

編集後記

今年は三月の気温が平年よりかなり高かったために、桜の開花がかなり早くなりました。二年前の東日本大震災では、多くの桜も被災により失われましたが、毎年見てきた桜の花が早く見られるよう、被災地の復興を願っています。

「福祉サービス第三者評価」受審を受け

地域施設連携係主任 新開 正義
 長尾福祉会では、「ゆたか荘及びのぞみ園」のそれぞれにおいて、平成24年度の事業の環として、「福祉サービス第三者評価」を受審しました。
 福祉サービス第三者評価とは、高齢者福祉施設や障がい者・障がい児福祉施設、児童福祉施設などの事業者の提供するサービスの質を、事業者及び御利用者以外の公正中立な第三者機関が、専門的かつ客観的な立場から評価し、また、個々の事業者が、事業運営における具体的な問題点を把握して、福祉サービスの質の向上を図るとともに、評価結果が適切なサービスの選択に役立てるための情報になることを目的として取り組まれている評価事業です。
 評価の実施方法は、自己評価に基づき、書面調査と御利用者からの聞き取り等による「訪問調査」で実施されます。
 2日半かけて行われた調査を受け、改善が必要な点や達成しているもの、更に伸ばすべき点などが明確になり、今後の取り組みへ課題を知る良い機会となりました。
 当法人においては、今後も定期的に受審することにより、現行のサービスの見直し、更なるサービス向上を目指してまいります。
 評価結果については、公表されており、香川県健康福祉部健康福祉総務課のホームページから閲覧できるようになっております。また、御希望の方は当法人までご連絡ください。

